

2018 年度事業報告
2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

1. 概況

- 2018 年度は配当金収入が減少したことから、前年度より規模を若干縮小して計画し、ほぼその内容にて奨学事業、研究助成事業ともに遂行しました。
- 財団の収支計算書に関しては、概ね予算通りとなりました。

(収入)

当期収入は 387 百万円となり、予算を 21 百万円上回りました。

主な理由は、貸与奨学金返還収入 99 百万円(10 百万円増)などが計上されたことによります。

(支出)

当期支出は 437 百万円となり、予算を 7 百万円上回りました。

主な理由は、研究助成基金積立資産を 10 百万円多く計上したことによるものです。

(収支差額)

以上の結果、当期収支差額は▲50 百万円となりました。

次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額▲264 百万円と合計し、214 百万円となりました。

- また以下の通り公益財団法人の認定等に関する法律の要件を満たしております

(公益事業比率 認定法十四条)

公益事業の経常費用は 224 百万円となり、法人会計を含めた経常費用合計 275 百万円に対して、81%ととなっており、基準である「50%以上」を満たしています。

(収支相償 認定法十六条)

奨学事業収支は▲17 百万円、研究助成事業は▲4 百万円となり、公益事業の収支がそれぞれ赤字となっており、収支相償の原則も満たしています。

(遊休財産保有制限 認定法十五条)

次期繰越収支差額 214 百万円は、公益事業費用 224 百万円を 10 百万円下回る結果となり、遊休財産額が 1 年分の公益目的事業費相当額を超えない要件を満たしております。

2. 日本人学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金(383 名、114.9 百万円)

指定 73 大学の 383 名(計画は 385 名で 2 名が辞退)の理工系学生に対して、一人当たり 30 万円/年で、合計 114.9 百万円(予算は 115.5 百万円、60 万円減)を給付しました。

2.2 海外留学奨学金(3 名)

2017 年度の決定者 4 名でしたがこのうち 1 名が辞退したため、3 名に対して 282.5 万円を給付しました。月額 15 万円の奨学金と渡航費 20 万円を給付しています。
また 2018 年度も指定 5 大学から 4~12 ヶ月の期間で留学を予定する理工系大学院生 5 名を募集しました。

2.3 貸与奨学金

2011 年度から新規募集を停止しており現在は返還のみ取り扱っております。
2018 年度は一括返還した者が予想より多く 99.9 百万円の返還金がありました。
2018 年度末の返済残額は 414 百万円、699 名となっております。

3. 海外からの留学生向け奨学事業

3.1 第二種給与奨学金(79 名、19.75 百万円)

指定 69 大学の海外からの理工系私費留学生 80 名を募集し 79 名の応募があり、一人当たり 25 万円/年を給付しました。

3.2 第三種給与奨学金(6 名、10.8 百万円)

中近東、アフリカ、中央アジア圏、東南アジアおよびメコン地域の産油・産ガス国からの理工系の私費留学生(大学院生に限定)に対する奨学事業であり、当会指定 31 大学から 6 名に対して、一人当たり月額 15 万円(年間 180 万円)で、総額 10.8 百万円を給付しました。

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

4.1 指定大学訪問

2018 年 10~12 月にかけて地方所在の 46 大学、首都圏所在の 27 大学、合計 73 大学を訪問し、日本人奨学生、返還猶予者および第二種、第三種の奨学生(海外からの私費留学生)との面談、大学担当部門との意見交換を行いました。

4.2 海外からの私費留学生との懇談交流

2018 年 7 月に第三種給与奨学生に対する資格授与式を行い、また 2019 年 1 月に

は首都圏所在大学の第二種給与奨学生との懇談交流会を実施しました。

5. 研究助成事業(30名、60百万円)

研究助成は、奇数年:37大学、偶数年:36大学を対象とし募集しています。

2018年度は36大学より募集し63名の応募がありましたが、選考委員会で審査の結果、25大学30名に対し一人2百万円で合計60百万円の助成を行いました。

2018年9月に選考委員、理事出席のもと、研究助成金贈呈式を行いました。また、2017年に助成した研究テーマに関する研究報告集(Vol.36号)を纏め、関係者に配布しました。

2018年度 奨学金および研究助成金の指定大学一覧

大学コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金		大学コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金		大学コード	大学名	日本人向け		留学生向け		研究助成金	
		給与(人数)	留学	第二種(人数)	第三種	奇数年	偶数年			給与(人数)	留学	第二種(人数)	第三種	奇数年	偶数年			給与(人数)	留学	第二種(人数)	第三種	奇数年	偶数年
01	北海道	9		2	○		○	25	福井	3		1		○		51	大阪府立	5		1	○		○
02	東北	9		2	○	○		26	静岡	7		1		○		52	埼玉	4		1			○
03	東京	11	○	2	○	○		27	山梨	3		1		○		53	富山	3		1			○
04	京都	11		2	○		○	28	名古屋工業	5		1	○		○	54	琉球	3		1	○		○
05	大阪	11	○	2	○		○	29	山口	4		1	○	○		55	茨城	4		1	○		○
06	九州	11		2	○		○	30	九州工業	5		1		○		56	東京農工	5		1	○		○
07	東京工業	9	○	2	○	○		31	室蘭工業	3		1	○		○	57	岐阜	4		1			○
08	横浜国立	6		1	○		○	32	首都東京	5		1	○		○	58	愛媛	4		1			○
09	岩手	3		1			○	33	大阪市立	3		1		○		59	北見工業	2		1	○		○
10	千葉	7		2	○		○	34	早稲田	11	○	2	○		○	60	宇都宮	2		1			○
11	新潟	4		1	○	○		35	慶應義塾	9	○	1	○		○	62	佐賀	3		1			○
12	金沢	4		1	○		○	36	芝浦工業	9		1			○	63	大分	1		1			○
13	名古屋	9		2	○	○		37	東京電機	9		1		○		64	兵庫県立	3		1			○
14	神戸	7		1	○	○		38	日本	11		1		○		65	豊橋技術科学	2		1			○
15	岡山	5		1	○	○		39	中央	4		1		○		66	長岡技術科学	2		1			○
16	広島	5		1	○		○	40	学習院	1		-			○	67	筑波	7		2	○		○
17	徳島	4		1	○	○		41	東京理科	11		1	○	○		68	工学院	7		1			○
18	長崎	2		1			○	42	千葉工業	9		1			○	69	東海	11		1	○		○
19	熊本	4		1			○	43	成蹊	1		-			○	70	電気通信	4		1			○
20	宮崎	3		1			○	45	鹿児島	5		1	○	○		71	立命館	8		1			○
21	鳥取	4		1			○	47	東京都市	4		1			○	72	日本女子	1		-			○
22	秋田	2		1			○	48	上智	2		1		○		73	東京海洋	3		1			○
23	山形	5		1			○	49	関東学院	3		1		○		74	明治	9		1			○
24	群馬	3		1			○	50	信州	7		1		○		75	同志社	5		1			○
																76	お茶の水女子	1		-			○

* 日本人向け奨学金	給与 385名/73大学 留学 5名/5大学
* 海外からの留学生向け奨学金	第二種 80名/69大学 第三種 6名/31大学
* 研究助成金	30名（偶数年は36大学、奇数年は37大学から）

(大学コード欠番 : No.44 No.46 No.61)

2018年度研究助成金受給者一覧

No	大学	所属	職名	氏名	助成額
1801	北海道	工学研究院	助教	土屋 聡	200万円
1802	北海道	電子科学研究所	准教授	三友 秀之	200万円
1803	京都	エネルギー科学研究科	准教授	袴田 昌高	200万円
1804	大阪	工学研究科	助教	馬越 貴之	200万円
1805	大阪	産業科学研究所	助教	曾宮 正晴	200万円
1806	九州	カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	准教授	渡邊 源規	200万円
1807	千葉	工学研究院	准教授	中村 一希	200万円
1808	金沢	理工研究域	准教授	古山 溪行	200万円
1809	広島	工学研究科	助教	長澤 寛規	200万円
1810	山形	学術研究院(理工学研究科)	助教	高山 彰優	200万円
1811	名古屋工業	工学研究科	准教授	大幸 裕介	200万円
1812	室蘭工業	工学研究科	准教授	神田 康晴	200万円
1813	早稲田	理工学術院総合研究所	研究院准教授	亀崎 允啓	200万円
1814	慶應義塾	理工学部	准教授	安藤 和也	200万円
1815	慶應義塾	理工学部	准教授	佐藤 隆章	200万円
1816	中央	理工学部	助教	早川 健	200万円
1817	学習院	理学部	助教	中村 顕	200万円
1818	千葉工業	工学部	准教授	亀谷 雄樹	200万円
1819	成蹊	理工学部	助教	作間 啓太	200万円
1820	信州	国際ファイバー工学研究所	助教	攪上 将規	200万円
1821	信州	理学部	准教授	高梨 功次郎	200万円
1822	大阪府立	理学系研究科	准教授	亀尾 肇	200万円
1823	大阪府立	研究推進機構	講師	亀川 孝	200万円
1824	埼玉	理工学研究科	助教	川村 隆三	200万円
1825	茨城	理学部	助教	吉田 大和	200万円
1826	兵庫県立	工学研究科	助教	唐 佳藝	200万円
1827	長岡技術科学	工学研究科	助教	高橋 一匡	200万円
1828	筑波	数理物質系	助教	奥野 将成	200万円
1829	立命館	生命科学部	准教授	折笠 有基	200万円
1830	日本女子	理学部	助教	菅原 佳奈子	200万円